

19 移動支援で支える かとうサクセスフル・エイジング

メンバー

実施者 : 株式会社 こみなみ
連携団体 : 加東市、NPO法人 輝きクラブ、介護保険事業者、
(株) トヨタレンタリース兵庫

活動目的

地域の集い場で集う高齢者等に、買い物や受診などの日常の暮らしを支える移動支援体制を構築する。さらに、集う者同士の交流を促進し生きがいを創出するとともに、集いを軸とした地域の見守りネットワークと生活支援の提供体制を構築する。そのために必要な福祉を支える地域の担い手の育成とその活動支援、およびそこに専門職が有効に関与することで高齢者の自立を支援するとともに、「訪問・相談・つなぎ」機能を発揮できる体制を推進する。

対象地域 : 兵庫県加東市

人口 :

男 : 19,768人

女 : 20,382人

合計 : 40,150人

世帯数 : 17,445世帯



取り組み内容

キーワード : 福祉送迎の活用 / 移動支援

移動支援サービスの運行 : 高齢者の移動支援で「ドアtoドア」のサービスを行い外出の目的を調査した。
ふまねっとカフェの立ち上げ及び運営支援 : 旧喫茶店を改修して「ブルーシャトー」として高齢者の集いの場として運営。
福田地区・東条地区のカフェは開催に向けて自治体や運営母体となる組織と協議していった。

2020年度の活動実績

移動支援サービスの運行 : 外出の目的は、受診が637件で全体の52.6%、買物が280件23%、金融機関/市役所等が101件8.3%で、美容室・理容室が続いている。登録ドライバーは18人で、今期間の活動時間は902時間07分 福祉有償運送の許可を得る為、申請作業を進めるも、実施していた「移動支援サービスの対象者」と行政側の「福祉有償運送の利用対象とする要件」が一致しないことを確認しておらず、結果的に福祉有償運送への移行を断念せざるを得なかった。
ふまねっとカフェ立ち上げ及び運営支援 : コロナ禍で「ブルーシャトー」は閉鎖。福田・東条地区も開催は難しく、今の状況では白紙となっている。



取り組みが地域に与えた影響

移動支援サービスの運行を通して、高齢者の移動については、「ドアtoドア」のオンデマンドサービスへのニーズが強く、コロナ禍という、高齢者が移動しにくい状況のなかで2021年の終了時点で、100名を超える利用者があり口コミで利用者は増加傾向にあり、加東市の高齢者移動モデルとして、行政の方々には今後の必要性をデータとして示すことが出来た。

取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

高齢者の集い場づくり「ブルーシャトー」を通して、ランチタイムには事業の運営費を稼ぐ事を目指して、日替わり定食などを提供していったが、経験がない中での飲食事業は収支を考えると厳しい結果となった。今となってみれば、地域にある飲食業などとタイアップするなど、やり方の工夫が必要であったと考える。
移動支援に関しては移動で料金を徴収していくことを目指される場合は、福祉有償運送の許可取りが必要になるが、利用者の利用条件などの部分的なローカルルールがあり、事前の下調べをする事が必要である。また、行政の担当者を味方につける事が重要である。

専門家コメント_グローカル交流推進機構

高齢者の居場所づくりと送迎をセットで行うことで、多くの高齢者の生きがいづくりに貢献することができたと思います。
残念ながら、事業自体は中途での断念を余儀なくされましたが、今回の助成事業で得た高齢者の移動・活動ニーズなどをベースにして、行政や他の事業者との連携により、長期的な視点で、高齢者の移動支援体制を構築していただければと思います。